

## 臨時業況調査結果について

○調査期間：平成23年8月下旬

○調査対象：従業員規模おおむね20人以上の製造業を中心とした市内企業50社

## 1. 業況

	状 況	悪 い	やや悪い	変わらない	やや良い	良 い
対前年同期	企業数	7	15	17	9	2
	割 合	14.0%	30.0%	34.0%	18.0%	4.0%

## 2. 今後の業況の見通し

状 況	悪くなる	やや悪くなる	変わらない	やや良くなる	良くなる	わからない
企業数	2	15	24	5	2	2
割 合	4.0%	30.0%	48.0%	10.0%	4.0%	4.0%
割合(前回)	5.9%	27.5%	27.5%	29.3%	5.9%	3.9%

## 3. 円高の影響

状 況	プラスの影響あり	マイナスの影響あり	影響なし	わからない
企業数	2	19	26	3
割 合	4.0%	38.0%	52.0%	6.0%
割合(前回)	3.9%	35.3%	58.8%	2.0%

## 4. 震災の影響（複数回答可）

状 況	プラスの影響あり	売上の減少及び損失	原料・資材の価格高騰	資金繰りの悪化	雇用への影響	その他	影響なし
企業数	4	13	7	0	1	13	18
割 合	8.0	26.0%	14.0%	0.0%	2.0%	26.0%	36.0%
割合(前回)	—	37.3%	39.2%	5.9%	3.9%	29.4%	19.6%

※今回、調査項目に「プラスの影響あり」を追加した。

## 5. 特徴的な事項

- 前年同期と比較した業況として、「変わらない」又は「やや悪い」と回答する企業が多くを占める。
- 今後の業況の見通しとして、「やや良くなる」と回答する企業の割合が前回訪問時（今年5月）の約3割から1割に減少し、「変わらない」と回答する企業が約5割、「やや悪くなる」と回答する企業が3割を占める。
- 円高の影響として、52%が「影響なし」、38%が「マイナスの影響あり」と回答。
- 震災の影響として、「売上の減少及び損失」又は「原料・資材の価格高騰」を挙げる企業が、それぞれ約37%から26%、約39%から14%に減少し、「影響なし」と回答する企業が36%を占める。